

市民の力による

夏のイベント

市長 米本 弥一郎



今年も、夏季観光の目玉である夏のイベントが通常開催となり、4年ぶりに旭の夏が戻ってきました。

7月の「旭市いいおかY・O・U・遊フェスティバル」には、花火大会などを目当てに、約9万5千人が集まりました。バザーや夜店、郷土芸能も大盛況で、約1万発の花火が打ち上げられると「日本で一番近くから観られる花火大会」のキャッチフレーズどおり、大迫力の光や音と共に、振動や火葉の匂いも体感できました。翌日の宝さがし、ビーチバレーボール大会にも多くの人に参加いただきました。ビーチバレーでは、汗と砂にまみれながらも、生き生きとボールを追う若者たちの姿に、パワーをもらいました。

8月には、第69回となる「旭市七夕市民まつり」が、2日間にわたり開催されました。商店街などを彩っ

た七夕飾りは、コンテストで最優秀賞に輝いた田町本町通り会の創作飾りをはじめ、どの飾り付けも祭りを盛り上げようという人たちの思いと意気込みにあふれていました。棧敷席から観覧した、神輿やお囃子、踊りのパレードは、熱気と興奮の渦を巻き起こしており、市民の底力を感じたところです。

久しぶりに大勢の観光客を迎えた夏のイベントは、大きな事故もなく無事に終了することができました。開催に携わった全ての人に、敬意と感謝を申し上げます。実行委員会や参加団体の皆さまにおいては、イベント復活に当たり多大なエネルギーを使われたことと思います。市民の持つ情熱やエネルギーこそが、地域のコミュニティを支える力となり、旭のまちづくりにつながっていくものと確信しています。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後7時
 土・日曜日、祝・休日…午前9時～午後5時
 今月の休館日／4日(月)、11日(月)、19日(火)、25日(月)
 岡市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ
 日時／2日(土) 午前10時30分～11時
 16日(土) 午前10時30分～11時
 場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「前の家族」

青山七恵 著 (小学館)

独身の小説家猪瀬藍は、中古のマンション購入を決意する。理想的な家族が暮らす物件を内覧し、新生活に心躍らすが、思いがけない展開が待っていた…。



「白鷺烏近なんぎ解決帖」

田中啓文 著 (光文社)

理不尽な理由で浪人となった白鷺烏近が、客の持ち込む無理難題を頓知の利いた策で次々と解決していく。テンポの良い、人情あふれた江戸の時代小説。

新着図書

- 山の本棚 (池内紀)
- アジアを生きる (姜尚中)
- 終わらない戦後 (船尾修)
- ビジュアル世界の偽物大全 (ブライアン・インズ、クリス・マクナブ)
- 飼育員が教えるどうぶつのディープな話 (大淵希郷)
- 身のまわりの「危険物の科学」が一冊でまるごとわかる (齋藤勝裕)
- シニアの手間なし栄養ごはん (米山久美子)
- 世界で最後の花 (ジェームズ・サーバー)
- メメンとモリ (ヨシタケシンスケ)
- ぼくはあと何回、満月を見るだろう (坂本龍一)
- 光のしるべ (あさのあつこ)
- ハンチバック (市川沙央)
- M (岩城けい)
- 津軽の髭殿 (岩井三四二)
- 夜果つるところ (恩田陸)
- もっと悪い妻 (桐野夏生)
- この夏の星を見る (辻村深月)
- フォトミステリー (道尾秀介)
- 獣の夜 (森絵都)
- はーばーらいと (吉本ばなな)
- 異能機関 (スティーン・キング)